

	たんぽぽ（0歳児）		ちゅうりっぷ（1歳児）	ばら（2歳児）
生活とあそび	月齢、成長に応じて、出来る遊びに差があるので、一人一人に合わせた保育を行うよう心掛けた。遊びの中で、自然に触れたり、体を動かす楽しさを感じられるようリトミックや戸外遊びを多く取り入れ、遊びの幅が広がった。	生活とあそび	個々の生活リズムや、一人一人の体力を考慮しながら、必要な子には、午前寝を個別で対応した。年度の後半には進級に向けた生活を話し合い、1月から子ども自身が朝の支度や、片づけを行えるように、1週ごとにやる事を増やしていく等、理解しやすいように工夫をして保育を進めた。 遊びでは、手先を使う遊びや、体を動かしてリズムに乗るリトミックなど、動と静のバランスを考え、保育を行う。「貸して」「ありがとう」「待っててね」「上手」等、保育者との会話のやり取りから、少しずつ子ども同士のやり取りにつながる事が出来た。	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画に沿って、保育を進める事が出来た。 ・個人差を配慮し、身の回りの事への興味や関心を広げる事が出来、新しい事への活動にも、自分から積極的に取り組もうとやる姿勢が見られるようになった。 ・保育者や友だちとの遊びや、集団遊びの中で、友だちとの関わり合いが広がり、やり取りを楽しむようになり、後半では簡単な決まりやルールも知らせながらの遊びを楽しむことができた。
保護者支援	初めての園生活なので、保護者の方が不安に思っていることや、質問事など相談しやすいように、おたより帳や降園の時にコミュニケーションをとりやすいよう環境づくりを行った。また、保育者間でも共通理解をし、解決できるよう話し合いを行った。	排泄	早い時期から便座に無理なく座れるように、個々に対応していったことで、トイレトレーニングへとつなげていくことが出来た。子ども達自身も排尿した事を知らせたりと、意識が出てきているようである。 パンツへの移行は数名出来たが、保育者間で声を掛けあい、間隔を見てトイレへの誘導をよりスムーズにしていくと、もう少し多くの子が、パンツへの移行を意識し、勧められたのではないかと感じた。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人差を考慮し、家庭と連携を図りながら進めたことで、トイレトレーニングが順調に進み、全員がトイレで排泄する経験ができた。 ・男の子は立って排泄をする練習をしたり、女の子は排泄後の始末が自分で出来る様になった。排便後の始末は、男の子、女の子ともに引き続き保育者の援助が必要である。
食育	月齢・個々の発達段階に合わせ、給食室や保護者と話し合いながら、離乳食を進める事が出来た。牛乳・卵など家庭でも協力していただき、全員が幼児食へと切り替える事が出来た。クッキー作りやうどん作り体験で、実際に生地に触れる事が出来、とてもよい体験を行う事で、食への興味が広がった。	食育	4月当初は手づかみ食べの子が多かったが、個々にスプーンで食べる事への意識を持てるよう、日々言葉を掛けながら働きかけた。徐々に自分で持ち、食べすすめようとする子の姿の見られ、継続性が持てたようである。 切る前段階のすいかや、マンゴーなどに触れて、栄養士からわかりやすく言葉がけしてもらい、理解して嬉しそうに食べる様子が見られた。又、野菜等も調理前に見せていただいたので、食事中に「にんじん」「きゅうり」などと言いながら、食べる姿が見られ、自然に覚えていくことができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・良く遊び、お腹のすく生活リズムをつくるよう心掛け、年間を通して栄養士との連携を図りながら、様々な経験ができ、喜んで取り組めた。 ・箸の持ち方を覚え、スプーンやフォークと併用して使いながら食べたり、使えたりすることの満足感を得られた。 ・旬の食材に触れたことは、食べる事への興味・関心にもつながった。
健康・安全	遊びが少しずつ活発になり、危険も多くなってきたが、固定遊具など高いところへは、一緒に登り、ケガの無いよう注意をした。その日の便の様子や体温を降園時に伝える事で、感染症予防に努めた。	健康・安全	遊具や高い場所からの転落も、保育者が安全面に配慮し関わったことで、大きなけがや事故も少なく過ごすことができた。 階段を登る際には、手すりをつかまり足を上げる意識が出来る様に言葉をかけていき、安全に登れるようになる。 流行性の感染症が出ると、クラス内でかかってしまう子が多いため、除菌や衛生面の管理をよりできればよかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、うがいの習慣が身に付き、手洗い後の消毒も自分から気づいて行えるようになった。風邪予防にもつながった。 ・交通安全週間では、老人ホームのお年寄りの協力もあり、交流しながら散歩へ出かける事で、横断歩道を渡る事や道路標識にも触れるよい機会となった。交通安全に対して、関心を持つことが出来た。
行事	親子で行事に参加することで、楽しむことができた。また、他のクラスの姿を見ていただくことで、保護者の方も期待を感じながら、見る事が出来たという声もあった。運動会での種目の内容が多くなってしまったので、来年度は内容をしっかりと考えていきたい。	保護者支援	毎日のおたより帳の中で成長を確認し合い、記録をしていくようなやり取りができた。 園行事に参加していただくことで、他の年齢の子ども達の姿を見ていただく機会となり、今後の成長が楽しみですという言葉がいただいた。	<ul style="list-style-type: none"> ・園だより、おたより帳、ホームページを通じて、子ども達の園での様子を細かく伝える事が出来、保育相談に応じる事で、保護者に安心感を持ってもらう事が出来た。 ・園行事に参加してもらえたことで、子どもと一緒に楽しい時間を共有することができた。
全体として	月齢差はあったが、手押し車や歩行しやすい環境を整える事で、全員が歩行できるようになった。朝の体操の時に、お散歩リングを使用することで、しっかりと持つことが出来る様になった。睡眠時には、赤ちゃんセンサーを使用し、プレスチェックをするときに注意し、SIDSの予防に努めた。こども保育環境研究所の書類など早めに提出できるよう、担任間で連携をとれるよう心掛ければ、さらに良かった。	全体として	担任間での情報共有や共通理解に努めたが、足りなかった部分もあったので、より意識し出来るようになった。 進級に向けた保育の方向性については、園内研修での話し合いを参考にすることで、子ども達が混乱せず、保育者も意識する点を共通して行う事ができた。出来る経験の積み重ねを大切にすることで、意欲的な子ども達の姿が見受けられた。	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修などによって、見直した保育に関する知識や技術を職員間で共有する機会を持つことができ、子どもの保育と保護者支援の専門性を高める事が出来た。

	ゆり組（3歳児）	さくら（4歳児）	すみれ（5歳児）
養護 （生命の保持・情緒の安定）	<ul style="list-style-type: none"> ・食事、排泄、睡眠、衣服の着脱、身の回りの整理など、子どもが意欲的に出来るようになった。 ・集団遊びをたくさん取り入れる事で、子ども同士の繋がりや友だちの輪も広がり、集団で過ごす楽しさを味わい、又、相手にも気持ちや意見がある事に気づけるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と呼び捨てにしまう子が多く、乱れた言葉を使う子もいたため、その都度知らせていくことで改善されていった。 ・一人一人の言葉に耳を傾け、自分の思いを安心して出せる様心掛けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつを積極的に行う事を4月から目標煮立てたことにより、徐々に身につけてきて、自分から行う事が出来る様になった。 ・いろいろな場に行くことにより、マナーも身に付き、良い経験となった。 ・様々な経験を通し、自分の意見や気持ちを相手に追耐える事が出来る様になった。 ・運動会、発表会を通し、1つの目標に向かって取り組めた。
教育 （健康・人間関係・環境・言葉・表現）	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の流れが分かるようになり、帰りの会で次の意の予定を伝えるようにしたことで、園に登園する事を楽しみにし、見通しを持った生活が出来る様になった。 ・園周辺のゴミ拾いを通して、部屋の中も清潔にしようとする姿が見られるようになった。 ・自己主張が強くなり、トラブルになる事もあったが、少しずつ友達のことを考えながら遊べるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段からクラス全体で遊ぶことが多く、トラブルも多いが友達とたくさん関わり過ごすことができた。 ・物を大切にすることができず、投げてしまったり、乱暴に使ってしまう事があった。なぜ、大切にするのかを具体的に伝えていくことで、子どもも理解し、少しずつではあるが、減ってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達同士のトラブルを自分たちで話し合っ解決できるようになり、友だちの意見にも耳が傾けられるようになった。 ・和太鼓や合奏、リズム表現を通して、表現力やリズム感を養う事が出来た。 ・老人ホームへの訪問により、交流を沢山持つことができた。
食育	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士と計画し、箸の持ち方や手洗い指導、うどん作り、季節の野菜に触れ楽しみながら、食に関する事を経験することができた。又、食育指導後も普段の活動に取り入れる事で、食事のマナーや椅子の座り方など、子ども達自身で意識する姿が見られるようになった。又、アレルギー児の対応では、卵・乳製品を含まない日を作ってもらい、皆と会話をしながら楽しく食事する事が出来たので、回数を増やせるとよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事のマナーや箸の使い方など、栄養士さんから教えてもらう事で、子ども達が意識して取り組むことができた。 ・言葉で伝えるだけでなく、子ども達が経験をしながら学べる時間があると、より良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に作る過程を見たり、食材に触れての体験がありよかった。 ・野菜の栄養素について、もっと詳しい説明があったり、箸の持ち方やマナーを給食時に栄養士の方に見ていただくことで、子ども達も意識を持って身に付けられると思う。
健康・安全	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と連携をとり、子どもの健康状態を把握し、感染症予防をすることができた。 ・国民安全の日の活動で行った「止まれ」の標識についてだけでなく、年間を通して色々な標識に触れられるとよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症にかかる子が多く、感染拡大を防ぐことができなかった。 ・保護者と連携を図り、マスクの着用を呼びかけたり、家庭でも手洗い、うがいを徹底してもらうよう対応できればよかった。 ・交通安全に関する行事を通して、標識や信号などに触れる事が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外での活動を多く取り入れ、丈夫な体作りを心掛け、感染症にかかる子が少なく、感染症拡大を防ぐことが出来た。 ・交通安全や不審者対策についての学習を行ったことで、標識に興味を持ったり、不審者に対する対応を伝える事が出来た。
保護者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・登園時や降園時などにその日の出来事や様子を伝える事で、保護者の方も行事を楽しみにしている様子がうかがえた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での様子を口頭や手紙などで伝えてくれることによって、保護者との連携を密にすることができた。又、行事にも多く参加してもらえ、園での様子も見てもらう事が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログを通して、日常の子どもの様子を定期的に発信し、保護者に伝える事が出来た。 ・連絡事項がうまく伝わらず、連絡不足になってしまう事があった。 ・就学に向けての方針や相談に乗り、悩みを一緒に共有出来た。
異年齢児の関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・朝や帰りの遊びを通して、年長児に優しく接してもらったり、遊びに混ぜてもらい、年長児の遊びを真似したり、小さい子にも優しく関わろうとする姿が見られるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進級前に交流をする機会を作る事が出来たが、普段あまり関わりを持つことができなかったため、各クラスの職員と話し合い、計画していけたらよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外などでは靴を履かせたり、手をつないで一緒に歩く姿が見られた。 ・他のクラスとの交流を行ったが、機会が少なかった。
全体として	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修では、知識を高めたり、再確認でき、又職員間で情報共有し、同じ理解で進める事が出来た。 ・クラスでお年寄りとコスモスと一緒に見たり、ハロウィンの仮装をして訪問し、親しみが持てたので、様々な行事の際にも交流する機会を作ればよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進級当初は、姿勢がすぐに崩れてしまう事が多く、集中力も保つことが出来なかったが、繰り返し伝える事で、少しずつ身に付き、落ち着いて生活できるようになった。 ・トラブルが多かったが、子ども達で考える時間を与える事で、すぐに保育者に頼らず、子ども同士で解決しようとする力が身についた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他クラスとの交流を定期的に行えらるともっと深いかかわりになったり、年長としての自覚も出てくると思う。 ・皆と同じレベルにするのではなく、個々のレベルに応じて関わりや指導を行えらともう少し円滑に進められたと思う。

給食室（LEOC）・・・給食提供については、おかわり対応を行う事で、食べきったという達成感が持てる盛り付け量の提供ができ、残食もほぼなかった。食欲をそそるような色彩、盛り付け方、食べやすい大きさなどに工夫していきたい。

・食育についても、子ども達が自分自身で行う（クッキングなど）ものに対して、とても興味深く、楽しく取り組む様子が見られた。今後も、子ども達が楽しく興味を持てるような工夫をしていきたい。

※幼保連携型認定こども園移行1年目の為、保護者の皆様にはいろいろとご協力をいただき感謝申し上げます。今後もさらに質の高い保育が提供できるようにしていきたいと思ひます。